

「飴買い幽霊」 清水町

子供を身ごもったまま死んだ
女の人が、
墓の中で産んだ赤ん坊を
育てるため、浄土寺門前の
飴忠と言ふ飴屋に
飴を買いに来たと言ふ

「猫の踊り」 萱町

萱町の天神さま（菅原神社）の
拝殿で、猫たちが
手拭いをかぶって
踊っていたと言ふ

「竜燈」 赤須賀

赤須賀 地蔵の海中より
竜神の放つ光が
数本の光線になり
海上を照らしたと言ふ

「底なし沼の大蛇」 芳ヶ崎

芳ヶ崎の底なし沼に
丸太のような物が浮いていた
釣り人がそれに乗って
魚を釣っていたら
丸太が急に動き出した
丸太だと思ったのは大蛇だったのだ
と言ふことだ

「下屋入道」

古井戸や穴ぐらに住んでいて
人の食べ物をこっそり
食べてしまう妖怪
桑名のあちこちに出没する

「片目の大鯰」 志知

志知の平群神社の池に住む魚は
神の使いで、片目である
ある時、里人が大鯰を捕まえたら
池の中から「松工門やーい」と
呼び声がした、すると大鯰が
「おーい」と返事をしたので
あわてて放してやったと言ふ

「お春狐」 尾野山

尾野山の里に、
お春狐と言ふ狐が住んでいて、
里の人々にかわいがられていた
正月には巣穴の前に
餅を供えたと言ふ

「白い大蛇」 揖斐川

揖斐川の河口に
白い大蛇が住んでいて
船を沈めるので
通りかかる船は白い布を
たらして、白蛇の仲間に見せかけたと言ふ